SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　再春館安心安全研究所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		♦経営理念（ありたい姿）を明文化し、社員全員が確認する掲示板に常に張り出すことで、会社のあるべき姿を従業員に共有している。また、定期研修及び年初の方針表明等を通し全従業員に説明し共有している。 ♦入職者へのグループ全体での理念研修を行い、共有している。 ♦経営目標を所長から毎週メールすることで、目標達成へ向けたプロセスを共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		♦法令遵守の規程とマニュアルを策定し、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信し、全従業員が確認できる場所に常に掲示している。 ♦入職者全員にコンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている。 ♦SOPを各作業に設けることにより、法令に沿った検査が確実にできる体制を構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		♦会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、研修・社内規定でその重要性を発信している。また、品質方針・全体目標に盛り込み、全社員が見ることのできる掲示板に掲示している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		♦社会・環境に及ぼす影響を年初の各部署の研修で検査員全員で共有し、意識的採水・検査を行うように意識づけている。 ♦ISO17025等外部審査等を受け、適切な企業活動ができる体制を整備している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		♦品質方針・全体目標に盛り込み、全社員が見ることのできる掲示板に張り出している。 ♦資料作成時等で、著作権の侵害が無いよう、担当者へ教育を実施している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		♦情報漏洩事故に対する具体的な対応策を示した社内規定を策定している。 ♦個人情報を扱う部署を設定し、個人情報を扱う部署への立ち入りを制限している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		♦お客様から頂いた意見等を真摯に受け止め、社内で共有し、必要に応じお客様のもとにお伺いし、コミュニケーションに努め、お客様目線での活動ができるように取り組んでいる。 ♦目の前のお客様だけではなく、お客様の先を意識し、満足以上の体験をしていただけるよう、意識がけた行動を行っている。 ♦取引先と、事業の営みで与える環境への影響を相互に理解し、少しでも環境負荷が低減できる取組がないか協議している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	♦取引先等での事故が起きると、人の健康、生態系など様々な場所への悪影響が発生する可能性があるため、事故防止に向けた事例の共有や取り組みを、採水時や年度始め、年度末の打ち合わせ時に実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		♦各種ハラスメントを防ぐための内規を制定し、差別や人権侵害がないことを確認し、品質方針・全体目標に盛り込み、全社員が見ることのできる掲示板に掲示し、全社員が意識的に行動することができる環境を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		♦月1回の３S活動やヒヤリハット・インシデントの共有を行うことで事故を未然に防ぐ環境づくりを醸成している。 ♦年1度の役員による３S活動により、現場の改善が迅速に行える体制を構築している。 ♦社内の作業環境測定を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		♦同一労働同一賃金ガイドラインに則し、社員・パート社員問わず、公正な待遇に取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		♦時差出勤、テレワークの実施、リフレッシュデイ（ノー残業推奨日）を設けることにより、働き方の多様性を生み出せる体制を構築している。 ♦個々の事情に合わせたフレキシブルな時短勤務を導入することで、家庭と仕事の両立を推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		♦オンライン上で各個人が個々の希望に沿った学習ができる動画視聴サービスへの加入により機会を提供している。 ♦業務上必要な資格、研修は積極的な参加を促し、参加費用を会社で負担している。				4	5.5			8	9								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　再春館安心安全研究所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		◆ワークライフバランスの適切な状況管理として、各個人の状況に応じた働き方ができる仕組みを構築している。 ◆年一回の健康診断、レディース検診、人間ドックを実施している。 ◆インフルエンザ予防接種の往診接種と費用を補助している。 ◆社員食堂を設置している。 ◆社内リフレッシュスペース・シャワールームを設置している。 ◆再春館グループの体育館やジム等福利厚生施設を設置している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		◆退役自衛官や他社退職者、女性等多様な人材による相乗効果を目指し、多様な働き方の容認に加え人材の確保を実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	◆テレワークや、時差出勤等の導入や、ウェブ会議の導入を実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		◆有害廃棄物・有害化学物質を扱う会社として、適切な管理処理を実施し、その記録を残すように取り組んでいる。また、廃棄物に関する研修を実施し、社員一人一人が意識的に対応できる環境の醸成に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		◆電気使用量からエネルギーの使用量を把握し、使用量削減のため、必要個所以外の電球の取り外しや節電呼びかけのポスターをスイッチに提示している。 ◆再春館グループで建屋全体でのエネルギーの使用量を把握し、高効率冷暖房器具への変更など取り組んでいる。 ◆社用車の走行距離やガソリンの使用量の把握に努め、入れ替えの際は環境負荷の少ない車両への転換を取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		◆消費電力を抑えるため、蛍光灯からLEDへ変更している。 ◆省エネに向けた掲示を行い、こまめに照明を消し、エアコンは使用しすぎない温度設定等にしている。 ◆CO2排出量として、建屋を使用するグループ会社全体の電気使用量及びガス使用量から建屋全体の排出量、社用車等外部で事業活動より排出する量を把握し、削減に向けた取組（高効率化・太陽光発電の設置等）を実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		◆薬品等の廃棄管理の徹底、採水検査の際の周りの環境への配慮等を通し、悪影響を及ぼさないように取り組んでいる。 ◆検査によって、事故を未然に防げるように、環境により良い状況にできるように常にステークホルダーとの情報共有や提案等を実施している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		◆裏紙の活用、使用済み紙のリサイクル、使用済みプラスチック容器のリサイクル等自社で実施可能な３R活動を実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		◆検査を通し、地域の水質の確保を行っている。 ◆節水の表記を各水道で行うことにより、社員への節水の呼びかけを実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		◆可能な限り積極的にリサイクル品、リユース品の購入を実施している。 ◆不必要な梱包等がない製品を積極的に購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	◆建屋花壇等を整備し、植栽に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	◆使用済みプラスチックのうち、リサイクル可能なものはリサイクル業者と独自に契約し、リサイクルを実施している。 ◆建屋周辺の清掃を週2回以上社員で実施して、プラスチックごみ等の回収を実施している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：株式会社　再春館安心安全研究所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		◆ISO17〇25、外部精度管理等自社だけで判断せず第三者機関による判定により、サービスの安全性や品質の確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		◆エレベーターの設置、全館段差のないバリアフリーとし、誰もが利用しやすい環境を提供している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	◆食糧生産の改善のための新規アプローチや、J-GAPの支援コンサルなどの展開を取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	◆産学官を通して、食糧生産への新規アプローチを実施し、農林水産業への新しい切り口の模索を実施している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		◆近隣の水系の清掃活動の実施や建屋周りの清掃等、身近なところから地域への貢献に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		◆熊本地震の教訓を活かし、建屋内での転倒防止措置やハザードマップの確認や、緊急避難先の確認など事前対策を実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	◆救急救命講習の受講促進や現場等での事故についての共有を行うことで、技能を持つ社員の育成に取り組んでいる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。